

十勝沖地震の教訓生かして

高校生も土のう積み

帯広 住民ら1200人防災訓練

2003年9月26日、同市内の中央公園の十勝沖地震の体験を  
防災に生かそうと、帯  
広市の宮坂建設工業  
(宮坂寿文社長)は25

日、同市内の中央公園

で市民参加型の恒例の

防災訓練を行った。

災害時には復旧に携

わる工事関係者や地域

住民、高校生など計1

200人が参加し、震

度5強の地震が市近郊

で発生したという想定

で、炊き出しや重機の

土のうを一度に16個作れる特殊容器に砂を詰  
め込む高校生たち



試運転をした。

堤防決壊を想定した

水防訓練では、土のう

を積み上げる体験も。

帯広農業高1年の吉田

勇紀君(16)は「土のう

が重くて驚いた。これ

なら水を食い止められ

ると実感できた」と話

した。(長谷川賢)